

イシガメプロジェクト2012



草野君



草野君が捕獲したイシガメ



2012年1月4日、生物部の新しいプロジェクトがスタートした。名付けて「**イシガメプロジェクト2012**」。

栃木県では、ニホンイシガメが**自然分布**している場所は、まだ確認されていない。仮にイシガメ1個体が発見されたとしても、かつてペットとして飼われていた個体が野外で偶然捕まった可能性もある。イシガメが自然分布することを明らかにするためには、まず、その場所で繁殖していること（複数個体の捕獲や子ガメの発見）を証明しなければならない。

昨年の暮れ、佐野市内に住んでいる**草野君**（小5、写真左上）から、貴重なイシガメ情報をいただいた。昨年の夏、足利市の**名草川の支流**でイシガメを捕獲したというのである。お父さんが撮って送ってくれた写真（右上）を見る限り、イシガメの特徴がよく表れている。

そこで、今年1月4日、名草公民館の了解を得、草野君親子の案内でカメ調査を行った。この日の水温は3℃、水の冷たさが胴長や手袋を通して伝わってくる。約1時間、部員3名と川底のくぼみやすき間に手を突っ込み、手探りでカメを探した。その結果、**クサガメの雌1個体**発見。しかし、クサガメは最近、外来種であるとされており、ここに生息していることは、あまり喜ばしいことではない。日本固有種であるイシガメと交雑し、雑種をつくってしまうからだ。今や純粋なニホンイシガメは、全国で**風前の灯火**なのである。

「イシガメプロジェクト2012」の今後の進展に期待しよう。

（注）その後のDNA調査により、名草川のイシガメは栃木県外から持ち込まれた移入種と判明しました。草野君はその後、佐高附属中に入学し、現在は大学で海洋生物について学んでいます。